

# 2023年度S Semester 必修科目(3年生)試験日程表

2023. 5. 18

科目名 (担当教員名)	試験日程・試験室 および試験実施方法	備考	受験者へのアドバイス
複素解析学Ⅱ (高山教授)	7月20日(木) 13:30~16:00 数理棟大講義室  <試験実施方法> 対面	●教科書・ノート等の参照 不可  ●演習の評価 試験の点数と演習の平常点により評価する。	特になし。
複素解析学 特別演習 (高山教授)			
幾何学Ⅰ 幾何学Ⅰb (河澄教授)	7月24日(月) 13:30~16:30 117講義室、123講義室  <試験実施方法> 対面 (特別な理由がある場合はオンライン受験に変更することは可能)	●教科書・ノート等の参照 不可 ●演習の評価 演習は講義と共通の試験で評価しないで、別の方法で評価する。 (その方法: 演習の単位の取得には少なくとも1題解き終わることが必要条件である。その上で講義の試験と宿題の成績を加味して成績をつける。)	試験範囲は授業で解説したことおよびその前提となる知識すべてである。過去問は追ってITC-LMSに掲載する。
幾何学 特別演習Ⅰ (河澄教授)			
代数学Ⅰ (寺田准教授)	7月25日(火) 13:30~16:30 117講義室、123講義室  <試験実施方法> 対面	●教科書・ノート等の参照 不可  ●演習の評価 演習も講義と共通の試験で評価する。	演習の評価は、講義と共通の試験の成績に、演習の提出物・発表等を加味して行います。
代数学 特別演習Ⅰ (寺田准教授)			
解析学Ⅳ 解析学Ⅳa 解析学Ⅳb (宮本教授)	7月26日(水) 13:30~16:30 117講義室、123講義室  <試験実施方法> 対面 (特別な理由がある場合はオンライン受験を許可する。)	●教科書・ノート等の参照 不可  ●演習の評価 演習は講義と共通の試験で評価しないで、別の方法で評価する。 (その方法: 毎回のレポートと黒板発表が基本だが、講義の試験結果も加味する。)	定義が多いので、よく確認してください。
解析学 特別演習Ⅰ 解析学特別演習Ⅰa 解析学特別演習Ⅰb (宮本教授)			